

# VistaSoft Connect

## 取扱説明書

ご使用の際には本書をよく  
読んでください。

## デュールデンタルジャパン株式会社

650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町6-5-8

TEL: 078-335-8883

[www.duerr.co.jp](http://www.duerr.co.jp)

# 目次

## 重要情報

- 1. この取扱説明書について ..... 4
  - 1.1 一般警告 ..... 4
  - 1.2 警告情報とシンボルについて ..... 4
  - 1.3 著作権について ..... 4
  - 1.4 本書の記載内容について ..... 4
  - 1.5 他社画像ソフトウェアとの連携 ..... 4

## システム要件

- 2. システム要件 ..... 5

## インストール

- 3. VistaSoftのインストール ..... 6
  - 3.1 インストールの前に ..... 6
  - 3.2 スタートメニュー ..... 6
  - 3.3 VistaSoftのインストール ..... 7
  - 3.4 VistaSoftの初回セットアップ ..... 10
  - 3.5 単一パソコンとしてインストール/サーバーとしてインストール ..... 11
  - 3.6 クライアントとしてインストール ..... 14
  - 3.7 ターミナルサーバー ..... 16
  - 3.8 既にDBSWINがインストールされている場合 ..... 16
- 4. デンツプライシロナ社用プラグイン ..... 19
  - 4.1 イメージブリッジのインストール ..... 19

## ソフトウェアの設定

- 5. VistaSoftコネクト設定 ..... 20
  - 5.1 データベース設定 ..... 20
  - 5.2 インターフェイス設定 ..... 23
  - 5.3 デバイスとソフトウェアの接続 ..... 25
  - 5.4 ビスタスキャンとVistaSoftの接続設定 ..... 25
  - 5.5 ビスタスキャンと他社画像ソフトとの連携 ..... 28

## ソフトウェアの使用方法

- 6. ソフトウェアの使用方法 ..... 29
  - 6.1 ビスタスキャンより画像を読み取る ..... 29
  - 6.2 画像修復 ..... 30
  - 6.3 イメージブリッジの起動 ..... 31
  - 6.4 イメージブリッジメインメニュー ..... 32
  - 6.5 イメージブリッジの設定 ..... 32
  - 6.6 画像の読み取り手順 ..... 34
  - 6.7 画像の表示 ..... 35

## 1. この取扱説明書について

この度はデュールデンタル製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の性能をよくご理解いただき、よりよい診療にお役立ていただきますよう、お願い申し上げます。

 この取扱説明書内の指示や注意事項を遵守しない場合、デュールデンタル社では本製品の安全性や正常な機能に対しての一切の保証ができませんのでご了承ください。

### 1.1 一般警告

本取扱説明書は機器の近くに保管し、必要などきにいつでも読めるようにしてください。本書記載事項の遵守は、本来の目的で正しく使用するための前提条件となっています。また、新スタッフが機器の使用方法を習得する際にも必要となります。

### 1.2 警告情報とシンボルについて

ここに示した事項は製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱をするとうつむることが想定される内容で、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに区分しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ずお読みください。

### その他のシンボル

これらのシンボルは取扱説明書内と、装置内部や表面で使用されています。

 経済的に使用するための特別な情報などを記載しています。

### 1.3 著作権について

デュールデンタルジャパン株式会社(又はDürr Dental SE社)の承認を受けることなく、本書に記載されたデータの再刷及び無断転載をすることは、一部または全部に関わらず固くお断りいたします。本書で使用されているシステム、方式、商標は全ての著作権をデュールデンタル社が保有しています。

## 1.4 本書の記載内容について

この取扱説明書ではデュールデンタルイメージングプレートスキャナー「ビスタスキャン」から、VistaSoftの機能の一部であるVistaSoftコネクトを用いた他社画像ソフトウェアへの画像転送について説明します。

デュールデンタルイメージングプレートスキャナー「ビスタスキャン」については製品の取扱説明書を、VistaSoftを画像データベースとして運用する場合は、VistaSoftの取扱説明書を、他社画像ソフトウェアについてはご利用のソフトウェア提供元へお問い合わせください。

### 1.5 他社画像ソフトウェアとの連携

この取扱説明書ではデュールデンタルイメージングプレートスキャナー「ビスタスキャン」から、VistaSoftの機能の一部であるVistaSoftコネクトを用いた他社画像ソフトウェアへの画像転送の接続一般例の説明を行います。機器の仕様、個別の設定、ソフトウェアや製品のバージョンによって異なる場合があることを予めご理解くださいますようお願いを申し上げます。

また本書で説明する接続方法については、十分に検証をしておりますが、予期せぬ製品仕様変更や更新等により一部機能がご利用できない可能性があることを予めお知らせいたします。

## 2. システム要件



以下の情報はインストール先のPCの要件を一般的に記載しております。以下の仕様を満たしていたとしても、弊社のソフトウェアの動作環境は個別のハードウェアやインストールされているソフトウェアによって変化します。そのためデュールデンタルではソフトウェア使用時のトラブル発生を完全に防ぐ事を保証するものではありません。

PCへ外部機器を接続する場合、システム要件が変化する事があります。接続する外部機器の要件を満たす事を確認してください。



本書に記載のシステム要件は、VistaSoftに含まれるVistaSoftコネクタを使用して、デュールデンタルのピスタスキャンから読み込む画像を他社画像ソフトウェアに転送する事を前提としています。VistaSoftを使用したカルテ・画像管理、ピスタスキャン以外のデュールデンタル画像機器のご使用については、VistaSoftの取扱説明書を参照してください。

### VistaSoft3.2.0におけるシステム要件

CPU:	Intel Core i3 以上
RAM:	4GB 以上
OS:	以下の64ビットOS Microsoft Windows 10 (Proまたはそれ以上) Microsoft Windows 11 (Proまたはそれ以上) Microsoft Windows Server 2019 Microsoft Windows Server 2022
ディスク容量:	50GB以上
インターフェイス:	イーサネット 転送速度100Mビット/秒以上
グラフィックカード	解像度 1280×1024 以上 色深度 32ビット 1670万色

### 3. VistaSoftのインストール

#### 3.1 インストールの前に

VistaSoftの機能の一部であるVistaSoftコネクトを利用することで、ビスタスキャンで読み取った画像を他社画像ソフトウェアに転送することができます。このときVistaSoftはビスタスキャンで読み取った画像を自己のデータベースに一度保存し、そこから他社画像ソフトウェアに画像を転送します。

そのため本書で説明する接続方法を利用するとき、PC上にVistaSoftのデータベースを作成しなければなりません。

VistaSoftを使用したカルテ・画像管理、ビスタスキャン以外のデュールデンタル画像機器のご使用については、VistaSoftの取扱説明書を参照してください。

**i** VistaSoftのインストールおよび設定は、デュールデンタルまたはデュールデンタルによって認可された技術者によってのみ実施することができます。

#### 3.2 スタートメニュー

インストールファイルより、「Start.exe」ファイルをクリックして実行します。表示されるスタートメニューより「VistaSoftのインストール」をクリックします。

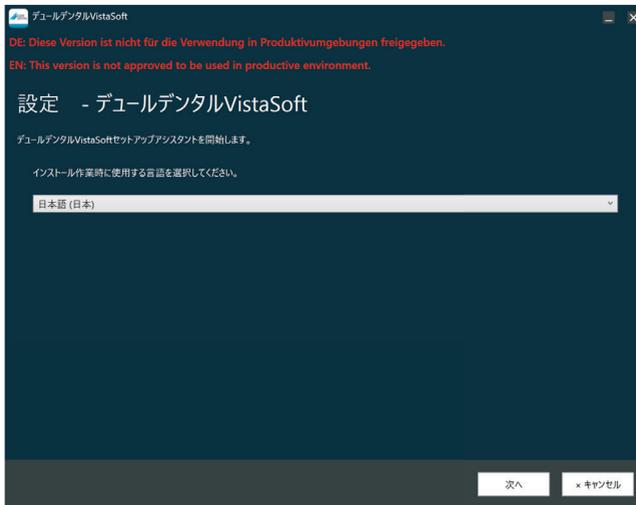


VistaSoftスタートメニューのインストールパッケージで様々なオプションを選択することができます。

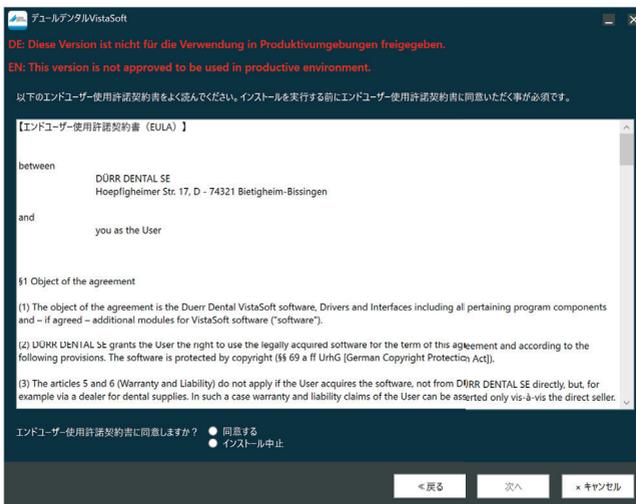
VistaSoftのインストール	VistaSoftのインストールを開始します。
パソコンの条件	システム要件がPDFファイルで開きます。 パソコンにPDF閲覧用ソフトウェアがインストールされていない場合は、「スタート」メニューからAdobe Acrobat Readerをインストールすることができます。
VistaSoft 取扱説明書	VistaSoft 取扱説明書がPDFファイルで開きます。 パソコンにPDF閲覧用ソフトウェアがインストールされていない場合は、「スタート」メニューからAdobe Acrobat Readerをインストールすることができます。
Adobe Acrobat Readerのインストール	PDF閲覧用ソフトウェアがインストールされます。これによりPDFファイルを開くことができます(システム要件、取扱説明書)。
ソフトウェアのバージョン履歴	現在のソフトウェアバージョンに関する情報が表示されます。
デュールデンタルのホームページ www.duerr.co.jp	デュールデンタルのホームページをブラウザで開きます(インターネット接続が必要です)。

### 3.3 VistaSoftのインストール

スタートメニューより「VistaSoftのインストール」をクリックします。  
使用する言語を選択します。選択し、「次へ」をクリックします。

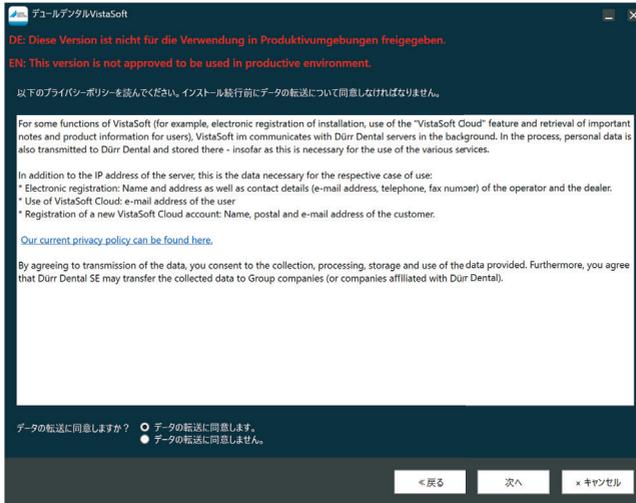


エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) をよく読んで、インストール続行する場合は、「同意する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



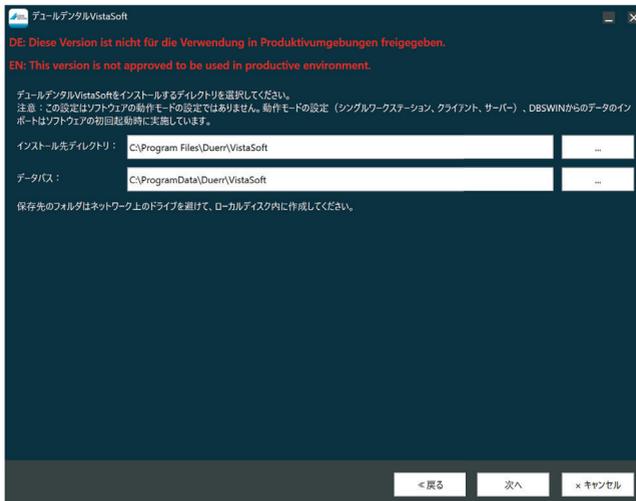
## インストール

プライバシーポリシーをよく読んで、インストール続行する場合は、「データの転送に同意します。」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

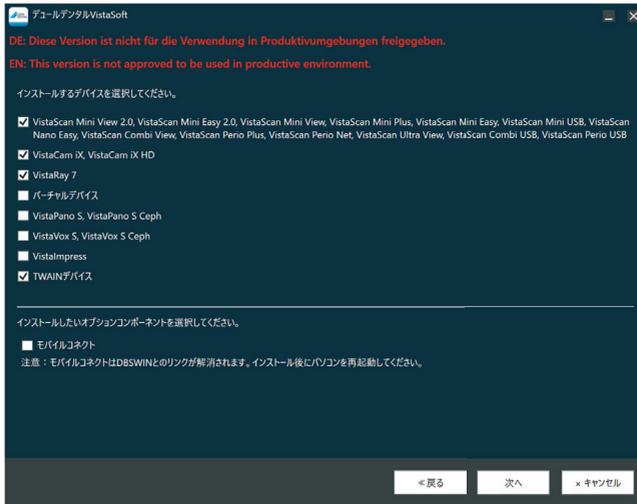


インストール先ディレクトリと、データパス保存先を決定します。デフォルト設定では以下が選択されています。

- インストール先: C:\Program Files\Duerr\VistaSoft
- データ保存先: C:\ProgramData\Duerr\VistaSoft



VistaSoftへ接続するデバイスの種類を選択します。



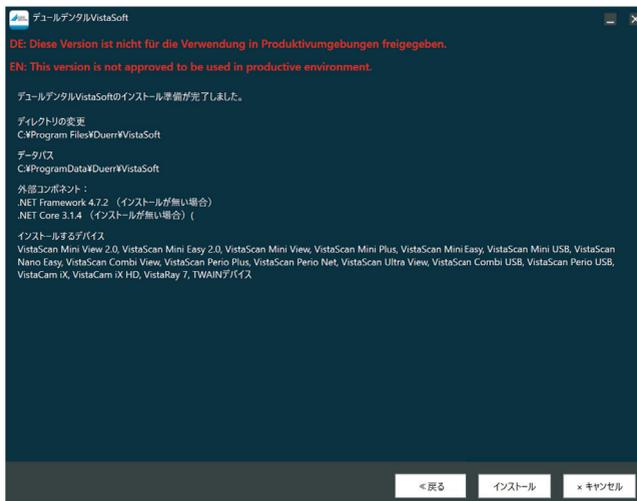
## モバイルコネクト

モバイルコネクトとはiPadを使用してサーバー内に保存した画像を閲覧できる有料のオプション機能です。

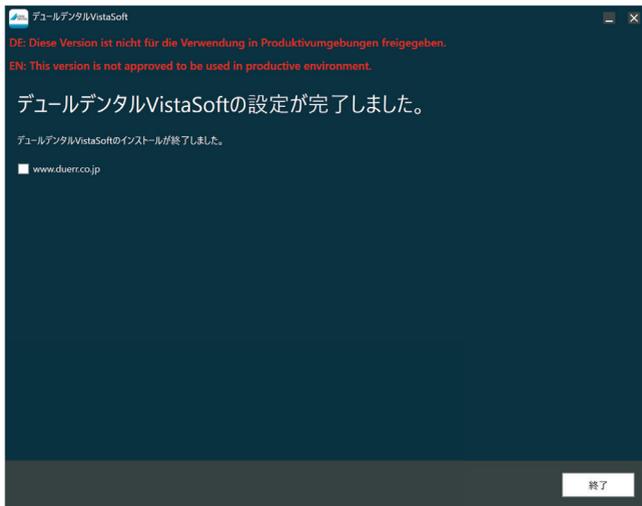
この機能を利用するためには、VistaSoftを院内画像サーバーとして運用する事が要件となります。詳しくはVistaSoft取扱説明書をご確認ください。

VistaSoftを医院画像サーバーとして使用しない場合、チェックをせずに進めてください。

インストール準備が完了しました。インストールを続行する場合は、「インストール」をクリック、設定をやり直す場合は、「<戻る」をクリックします。



以下の画面が表示され、インストール作業は終了します。



### 3.4 VistaSoftの初回セットアップ

VistaSoftを開始するには操作モードを選択する必要があります。(DBSWINではインストール前に選択していましたが、VistaSoftは初回起動時に操作モードを選択します。)



VistaSoftの操作モードは一度選択すると変更する事ができません。

VistaSoftを起動します。操作モードの設定選択が表示されます。



#### 単一パソコン(3.5 単一パソコンとしてインストール/サーバーとしてインストールを参照)

このPCでクライアント/サーバーの両機能が使用可能となります。しかし他のクライアント機を接続する事はできません。

### クライアント(3.6 クライアントとしてインストールを参照)

このPCではクライアント機能のみ利用可能となります。ただしクライアント機能を利用するには、別途サーバーをインストールしたPCとネットワーク接続する事が必須となります。

### サーバー(3.5 単一パソコンとしてインストール/サーバーとしてインストールを参照)

このPCでクライアント/サーバーの両機能が使用可能となります。さらに他のクライアント機を接続する事ができ、このPCをサーバーとして利用する事ができます。

#### ターミナルサーバー

ターミナルサーバーとして運用する事ができます。

#### 既にDBSWINがインストールされている場合

既にDBSWINがインストールされ、データベースが存在する場合、VistaSoftはデータベースを自動的に検知します。

### 3.5 単一パソコンとしてインストール/サーバーとしてインストール



単一パソコンとしてインストールする場合、他のクライアント機を接続する事はできません。

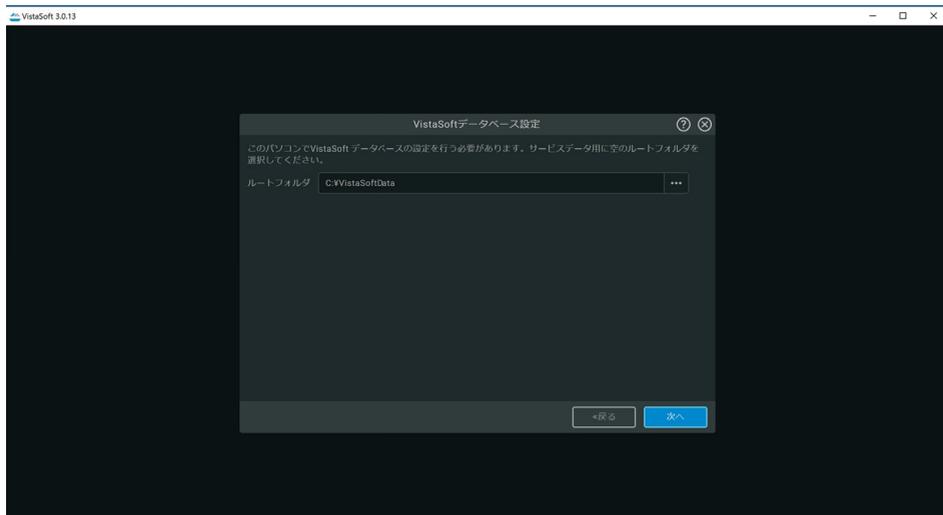
ここでは、VistaSoftを使用するためのデータベースを作成する必要があります。

操作モード設定の選択画面より「単一パソコン」または「サーバー」を選択し、「次へ」をクリックします。

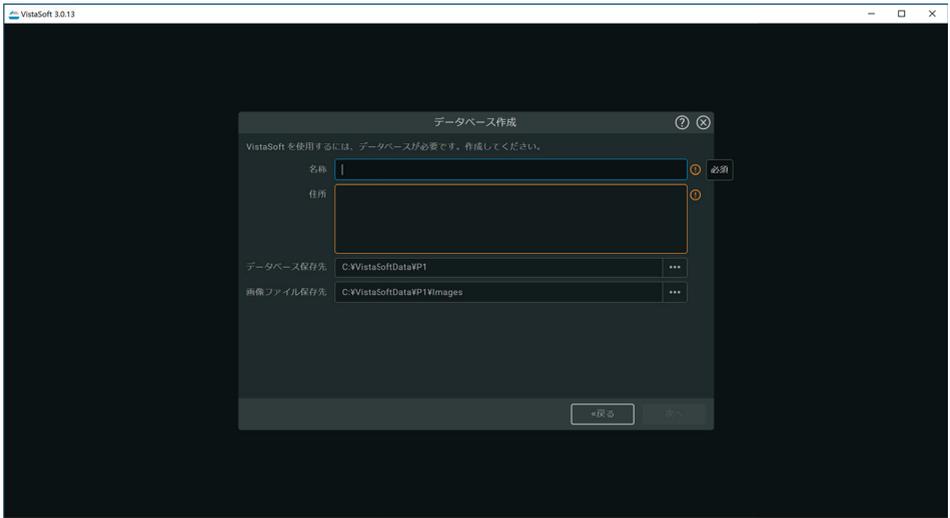
VistaSoftのデータベースのルートフォルダの設定を行います。デフォルトでは以下が選択されています。

○ ルートフォルダ : C:\¥VistaSoftData

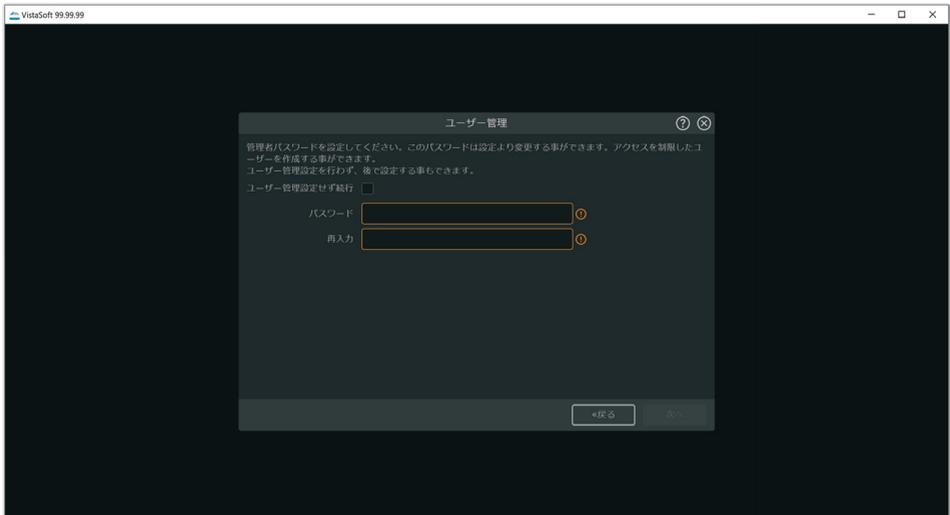
ルートフォルダを選択し、「次へ」をクリックします。



データベース名称の登録を行います。任意の名称、および住所を入力し、「次へ」をクリックします。



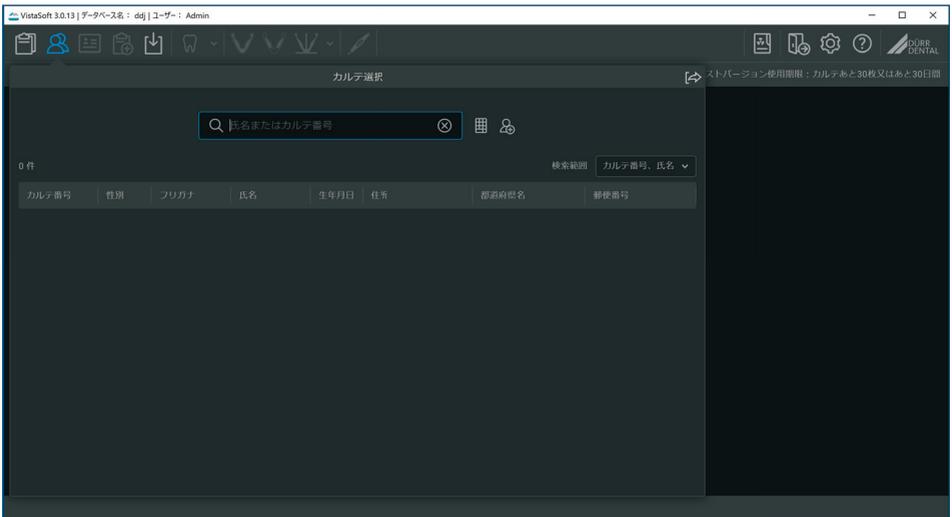
管理者パスワードを設定する事ができます。設定しない場合、「ユーザー管理設定せず続行」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



データベース設定サマリーを確認して、セットアップを行います。



セットアップが完了し、VistaSoftが起動します。

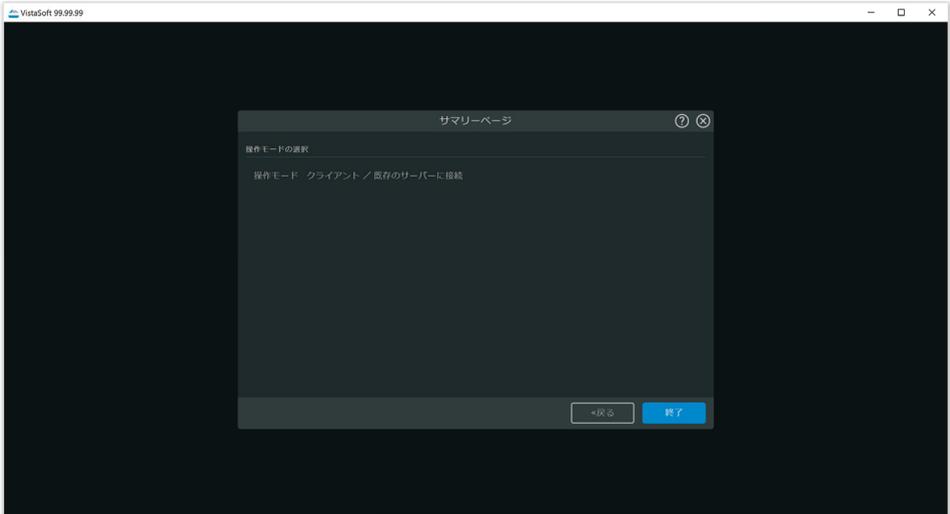


### 3.6 クライアントとしてインストール

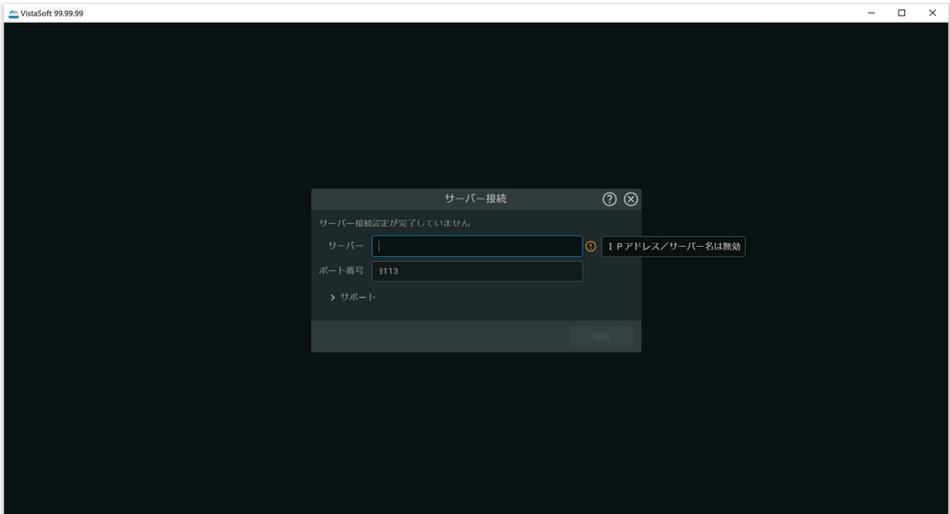
**i** クライアントとしてインストールする場合、同一ネットワーク内にVistaSoftがサーバーとしてインストール・設定されているPCが必要です。クライアント単体ではVistaSoftを利用する事ができません。

ここでは、VistaSoftを使用するためのデータベースを作成する必要はありませんが、サーバーと接続する必要があります。

操作モード設定の選択画面より「クライアント」を選択し、「次へ」をクリックします。サマリーページが表示されます。確認して「終了」をクリックします。



同一ネットワーク内にVistaSoftがサーバーとしてインストール・設定されているPCのIPアドレスまたはPC名を入力して「接続」をクリックしてサーバーとの接続を行います。このときサーバーPCが正しく起動していることを確認してください。



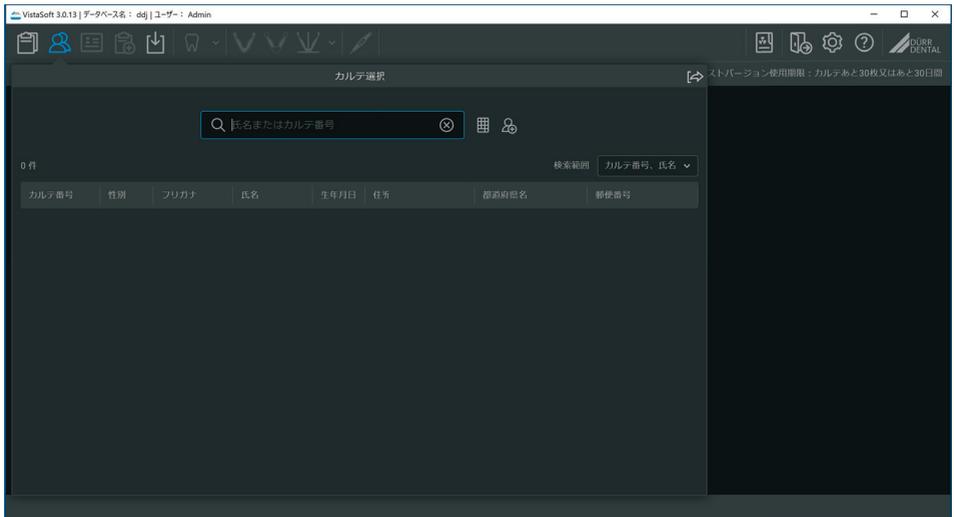


ポート番号はデフォルトで「3113」が設定されています。

VistaSoftがサーバーしてインストールされているPCとの接続に問題がある場合、以下の確認を実施する事を推奨します。(一例)

- サーバーPCが正常に起動しているかどうか
- サーバーPCとインストールするクライアントPCが同一のネットワークセグメントであるか
- IPアドレス等の設定、入力に問題がないかどうか
- ポート番号(デフォルト:3113)がサーバーPC、クライアントPCの双方で正しく開放されていサーバーPCでポート番号の変更がされていないかどうか

接続が完了すると、セットアップが完了し、VistaSoftが起動します。



### 3.7 ターミナルサーバー

ターミナルサーバーとして運用することもできます。このときチェックを入れて進めます。  
環境変数として「CLIENTNAME」または「USERNAME」を使用する事ができます。  
USBデバイスを使用するとき、ローカルにクライアントのインストールが必要です。

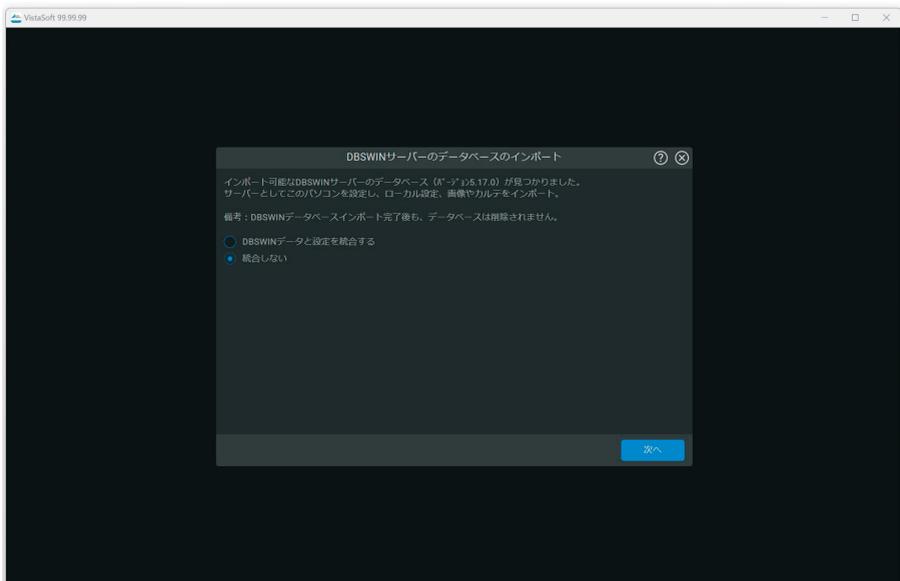
### 3.8 既にDBSWINがインストールされている場合

VistaSoftをインストールしようとするPCに既にDBSWINがインストールされている場合、VistaSoftは自動的にDBSWINを検知します。

インストール時点でDBSWINを画像データベースとして使用しておらず、過去の画像データを参照する必要が無いとき、DBSWINデータベースはVistaSoftに統合する必要はありません。

反対に、インストール時点でDBSWINを画像データベースとして使用している場合、VistaSoftをインストールする事でデータベースが重複して存在する事となります。この場合は、VistaSoftの取扱説明書を参照してください。

DBSWINデータベースと統合が不要な場合は、「統合しない」にチェックを入れて、「次へ」をクリックしてデータベース作成に移ります。



## 4 デンツプライシロナ社用プラグイン

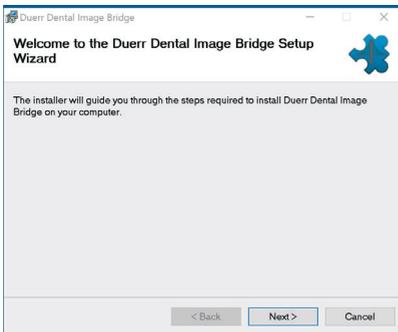
デンツプライシロナ社製画像ソフトウェアSidexisをご利用の場合、デュールデンタルのデンツプライシロナ社専用のプラグイン「イメージブリッジ」をご利用いただけます。

### 4.1 イメージブリッジのインストール

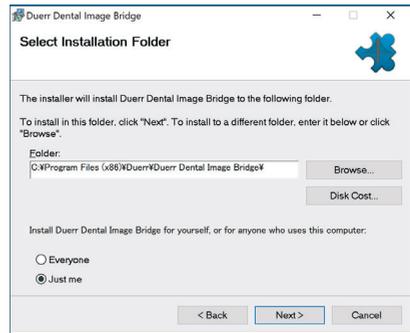
VistaSoftインストールファイルのスタートメニューより「イメージブリッジのインストール」をクリックします。



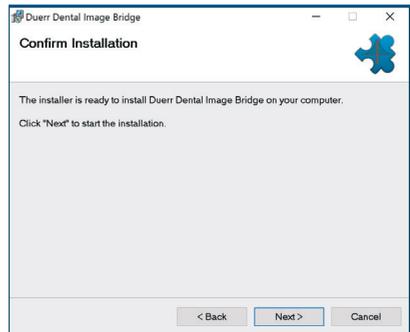
「Next」をクリックします。



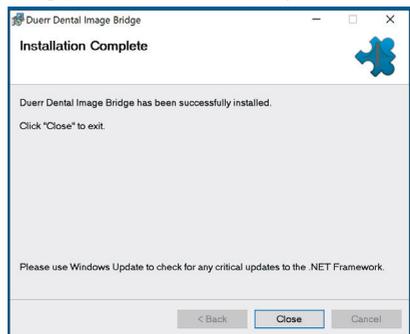
インストール先のフォルダを選択します。



「Next」をクリックします。



「Close」をクリックして終了します。



デンツプライシロナ社製画像ソフトウェアSidexisを起動し、イメージブリッジアイコンが正しく表示されている事を確認してください。

以上でイメージブリッジのインストールが完了します。

## 5. VistaSoftコネクト設定

VistaSoftコネクトはVistaSoftの一部です。本機能を利用する事でビスタスキャンで読み取った画像を他社画像ソフトウェアに転送する事ができますが、快適にご利用いただくためには適切な設定を行っていただく事を推奨します。本章では、その設定について説明をいたします。

### 5.1 データベース設定

VistaSoftコネクトを利用したビスタスキャン画像の他社画像ソフトウェアの転送のプロセスで、ビスタスキャンが読み取った画像はすべてVistaSoftに保存されます。

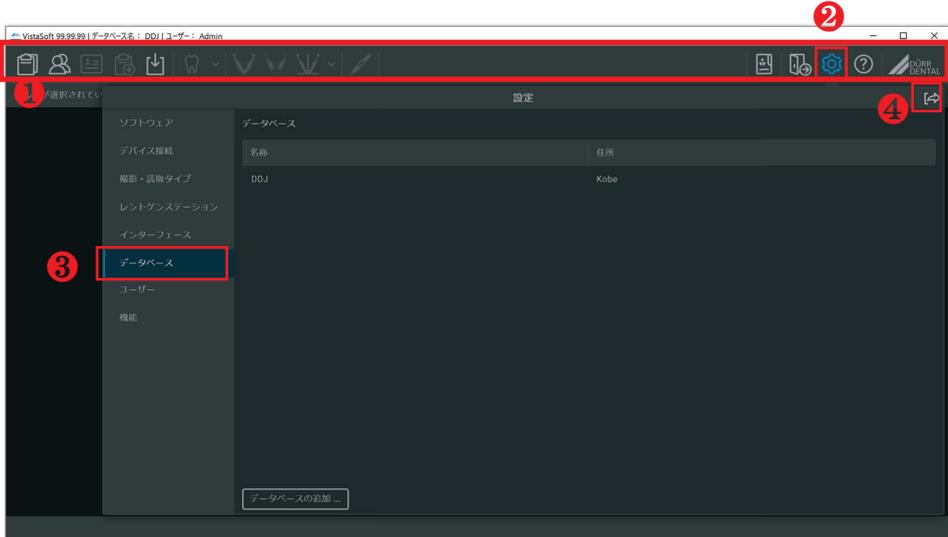
このとき画像が保存されるだけでなく、スキャンジョブ毎にカルテが作成されるため、VistaSoftを画像データベースとして運用しない場合、これらの画像やカルテを削除する事でPCのディスク容量の安定を図ります。

ただし即時削除すると、他社画像ソフトウェアに正しく取り込めなかった画像の修復が困難となるため、ビスタスキャンでの読み取り後一定期間経過後に画像やカルテを削除する事を推奨します。

データベース設定の変更は以下の手順で行っていただけます。

VistaSoftの①メニューバーより②「設定」をクリックします。

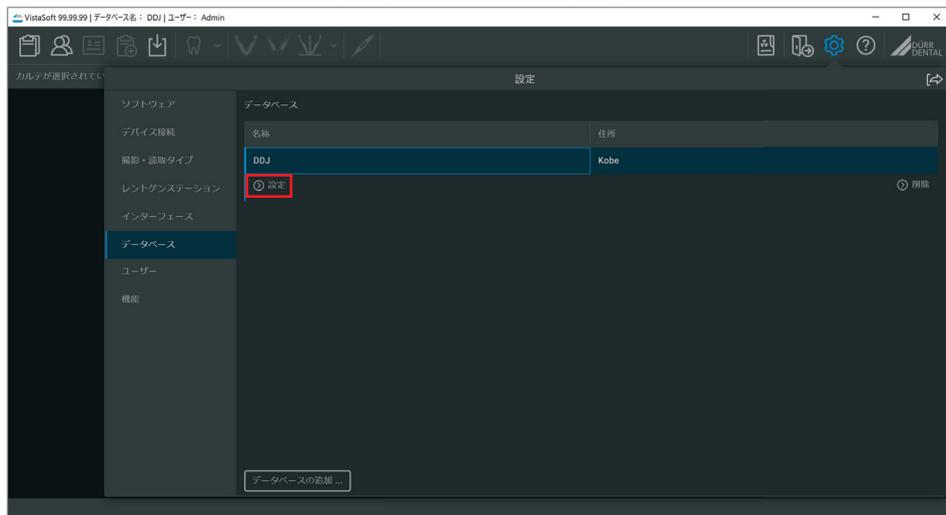
③「データベース」をクリックします。データベースが一覧で表示されます。



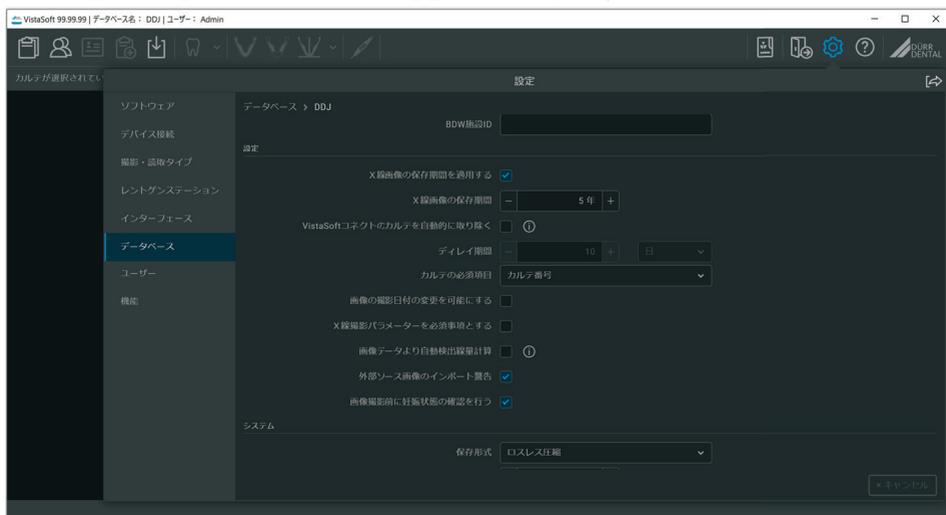
- ① メニューバー
- ② 設定
- ③ データベース
- ④ 完了ボタン

VistaSoftではウィンドウに右上に完了ボタン④が配置されています。作業途中でウィンドウを閉じた場合、設定は保存されます。(完了ボタンをクリックしたことになります。)

データベース名称をクリックすると、「設定」が表示されます。「設定」をクリックします。



以下の画面が表示され、データベースの設定を行う事ができます。



VistaSoftコネク特を利用してビスタスキャンで読み取った画像を他社画像ソフトウェアに転送する上で重要となる設定は以下の通りです。

- X線画像の保存期間を適用する
- VistaSoftコネク特のカルテを自動的に取り除く
- デレイ期間

## X線画像の保存期間

X線画像の保存期間の設定をする事で、指定年間はX線画像を削除できないように設定します。VistaSoftで医院画像の保存を行わない場合、長期間保存する事でデータ容量が圧迫されます。VistaSoftで医院画像を保存せず、他の画像ソフトウェアで画像が正しく保存される場合、「X線画像の保存期間を適用する」のチェックを外す事を推奨します。(保存期間は画像はいつ消える?)

X線画像の保存期間を適用する

X線画像の保存期間 - 5年 +

VistaSoftコネク트의カルテを自動的に取り除く  ⓘ

ディレイ期間 - 30 + 日

30年と日後に自動で削除します。

カルテの必須項目 カルテ番号

## VistaSoftコネク트의カルテを自動的に取り除く

VistaSoftコネクートを利用してビスタスキャンで読み取った画像を他社画像ソフトウェアに転送するとき、スキャンジョブ毎にVistaSoftにカルテが作成されます。VistaSoftはカルテ30枚作成後、30日間経過すると使用出来なくなるため、作成したカルテは自動的に削除する必要があります。

X線画像の保存期間を適用する

X線画像の保存期間 - 5年 +

VistaSoftコネクートのカルテを自動的に取り除く  ⓘ

ディレイ期間 - 30 + 日

30年と日後に自動で削除します。

カルテの必須項目 カルテ番号

## ディレイ期間

VistaSoftコネクートを利用してビスタスキャンで読み取った画像や読み取り時に作成されるカルテが自動的に削除されるまでのディレイ期間を選択できます。

X線画像の保存期間を適用する

X線画像の保存期間 - 5年 +

VistaSoftコネクートのカルテを自動的に取り除く  ⓘ

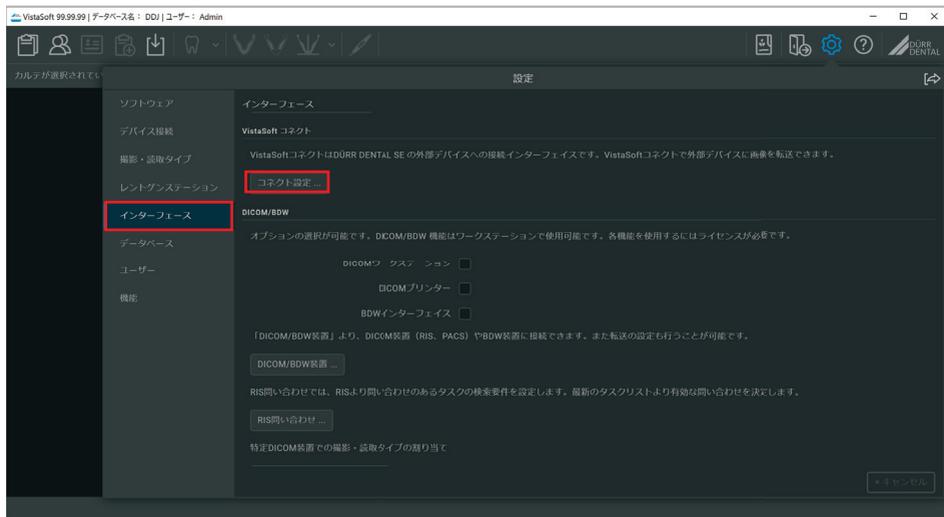
ディレイ期間 - 30 + 日

30年と日後に自動で削除します。

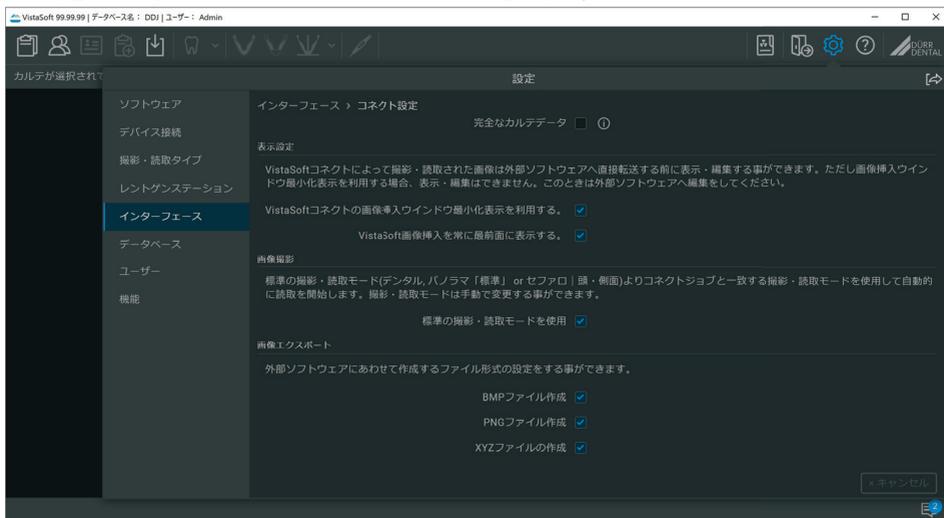
カルテの必須項目 カルテ番号

## 5.2 インターフェイス設定

VistaSoftのメニューバーより「設定」をクリックします。さらに「インターフェイス」をクリックします。そして、「コネクト設定」をクリックします。



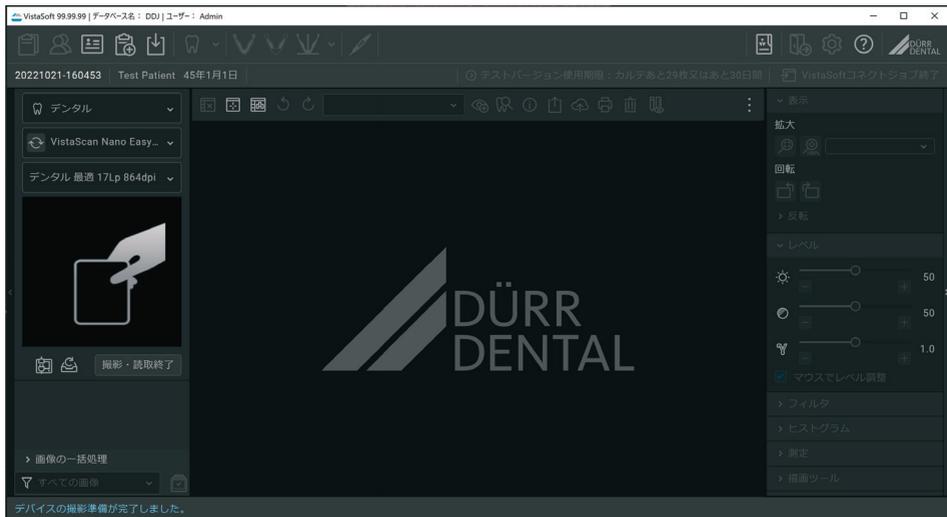
表示設定、画像撮影、画像エクスポートが以下に表示されます。



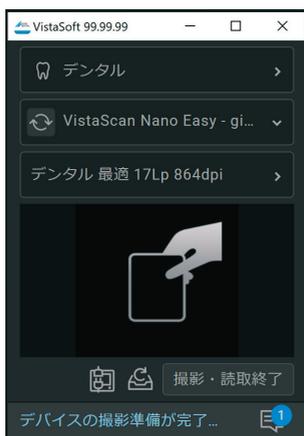
## 表示設定

VistaSoftコネクトを利用してビスタスキャン画像の他社画像ソフトウェアの転送するとき、画像挿入ウィンドウの表示形式を選択することができます。設定した画像挿入ウィンドウは他社ソフトよりスキャンジョブをビスタスキャンに送った後に表示されます。

通常表示では以下のようにシャークアステンや画像編集ボタンを合わせて表示をされます。



「VistaSoftコネクトの画像挿入ウィンドウ最小化表示を利用する」にチェックを入れると、以下のように最小限の表示されます。



## 画像撮影

デンタル画像を読み込む際に、デンタル撮影の部位を都度選択する必要がないとき、「標準の撮影・読取モードを使用」にチェックを入れることで選択を回避することができます。

## 画像エクスポート

VistaSoftより出力する画像形式を設定することができます。ご使用の他社画像ソフトウェアが受け取り可能な画像形式を設定することができます。

### 5.3 デバイスとソフトウェアの接続

VistaSoftコネクトを利用してビスタスキャン画像の他社画像ソフトウェアの転送するとき、以下のプロセスで画像の受け渡しが行われます。

- ① 他社画像ソフトウェアからのスキャンジョブの受け取り
- ② ビスタスキャンで画像の読み取り
- ③ ビスタスキャンで読み取った画像をVistaSoftで保存
- ④ VistaSoftで読み取った画像を他社画像ソフトウェアへ転送

そのため、以下の2つの設定が必要となります。

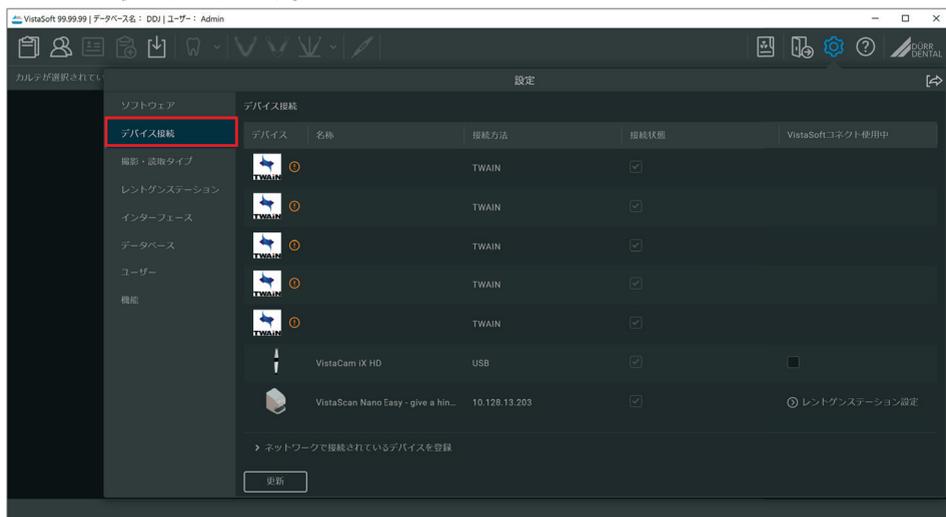
#### 5.4 ビスタスキャンとVistaSoftの接続設定

#### 5.5 VistaSoftと他社画像ソフトとの連携

### 5.4 ビスタスキャンとVistaSoftの接続設定

従来のVistaConfigと同様にIPアドレスを認識して接続を行います。

VistaSoftのメニューバーより「設定」をクリックします。さらに「デバイス接続」をクリックします。接続可能なデバイスが一覧で表示されます。

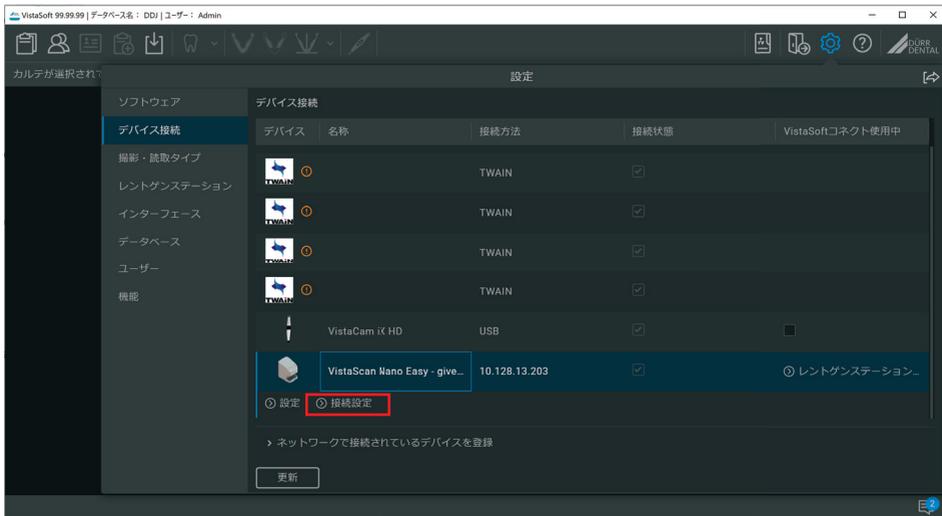


 VistaSoftがインストールされているPCとビスタスキャンは、同一のネットワークセグメントになるよう接続を設定してください。

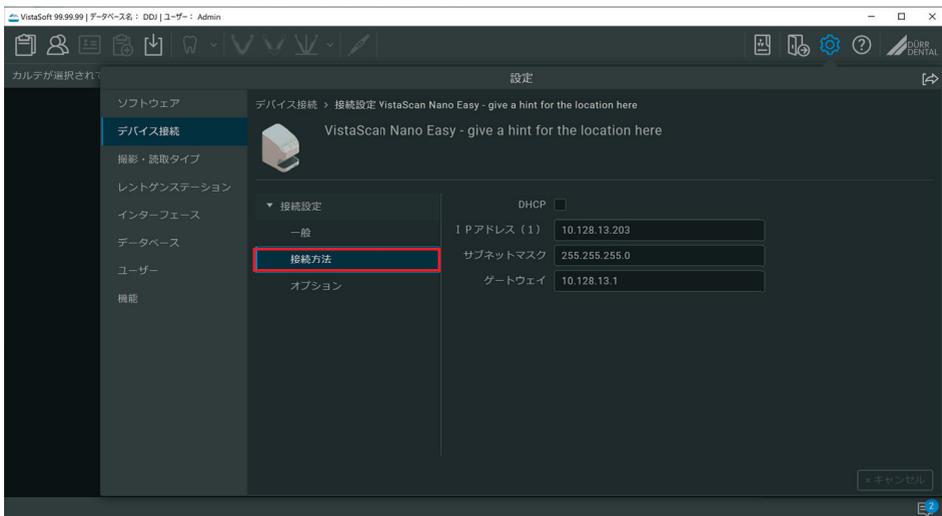
#### 接続状態の確認

接続状態を示すボックスにチェックが入っているとき、PCはビスタスキャンと接続されています。

接続したいビスタスキャンが表示されているが、接続状態を示すボックスにチェックが入っていない  
 本体の名称をクリックして「接続設定」を表示します。



「接続設定」をクリックして、「接続方法」を開きます。



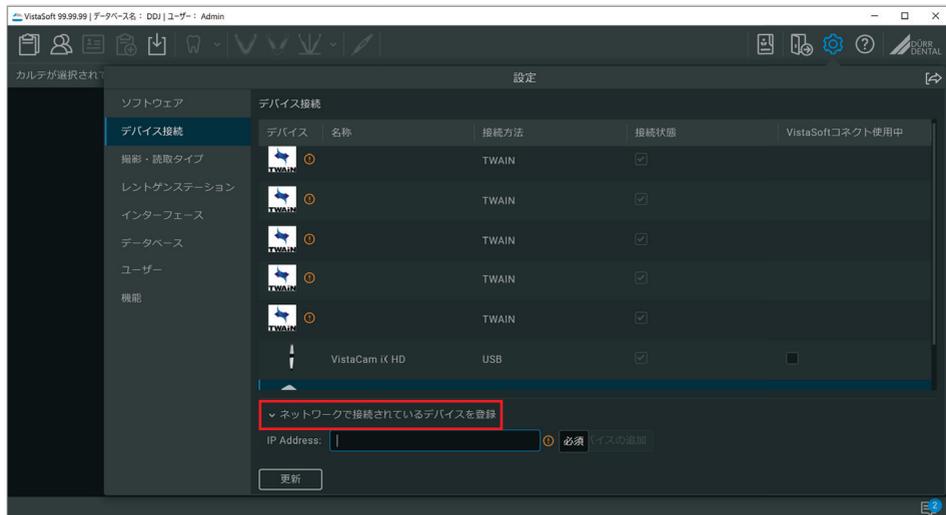
設置環境に最適なネットワーク設定を行います。

DHCPにチェックを入れるとIPアドレスが変化するため、スキャナーとPCの接続が安定しない恐れがあります。DHCPのチェックを外す事を推奨します。

## 接続したいビスタスキャンが表示されていない

デバイス接続より「更新」をクリックします。

ビスタスキャン本体のIPアドレスがわかるとき、「ネットワークで接続されているデバイスを登録」をクリックします。



IPアドレス入力欄が表示されるので、本体のIPを入力します。

入力後更新をクリックします。接続状態を示すボックスにチェックが入っている事を確認します。

 本体にディスプレイが搭載されているビスタスキャンは本体よりIPアドレスの変更をする事が可能です。詳細はビスタスキャン本体の取扱説明書を参照してください。

完了ボタンをクリックして終了します。

以上でビスタスキャンとVistaSoftの接続設定が完了します。

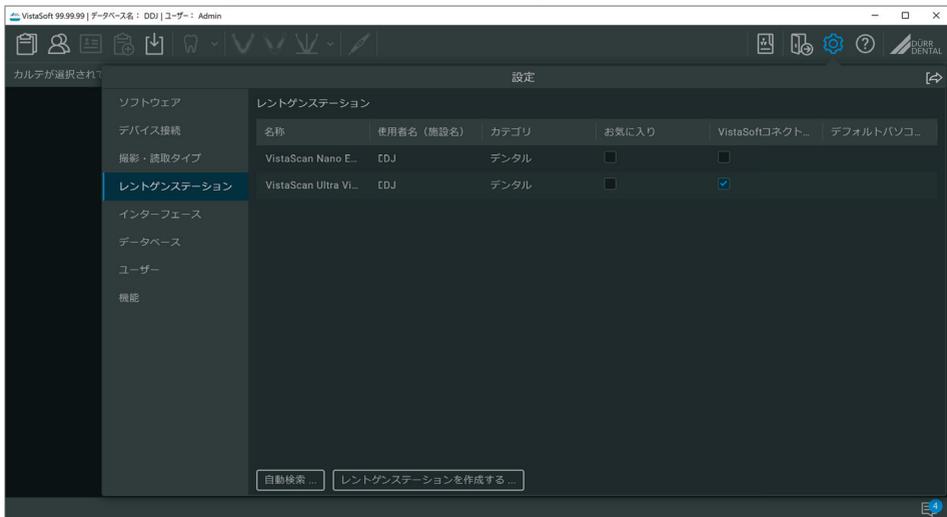
## 5.5 VistaSoftと他社画像ソフトとの連携

5.4 デバイスとソフトウェアの接続で説明したとおり、さらにVistaSoftと他社画像ソフトとの連携の設定が必要となります。

VistaSoftのメニューバーより「設定」をクリックします。さらに「レントゲンステーション」をクリックします。

 過去に使用するVistaSoftへ接続したことがあるビスタスキャンは、削除しない限りレントゲンステーションとして継続して登録されます。

「VistaSoftコネク使用中」のボックスにチェックを入れます。



完了ボタンをクリックして終了します。

以上でVistaSoftと他社画像ソフトとの連携が完了します。

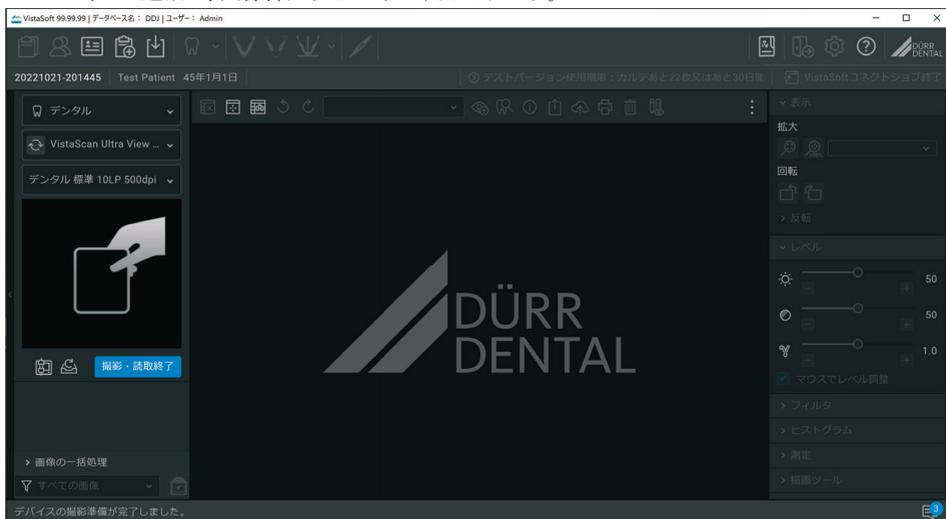
## 6 ソフトウェアの使用法

 本書に記載の他社画像ソフトウェアの操作方法は参考資料です。正しいソフトウェアの使用法は当該ソフトウェアの取扱説明書で必ず確認を行ってください。

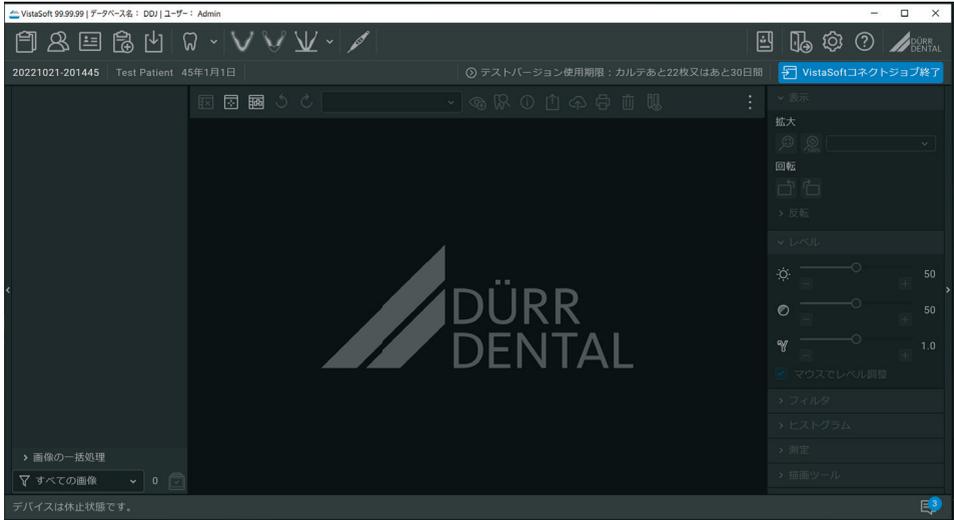
### 6.1 ビスタスキャンより画像を読み取る

他社画像ソフトウェアよりビスタスキャンでのデンタル画像を読み取りを開始します。(手順詳細についてはそれぞれのソフトウェア取扱説明書を参照してください。デンツプライシロナ社の画像ソフトウェアをご利用の場合、デュールデンタルの画像ソフトウェアプラグイン「イメージブリッジ」を利用いただけます。6.3 イメージブリッジの起動以降をご参照ください。)

ビスタスキャンが起動し、画像挿入ウィンドウが表示されます。



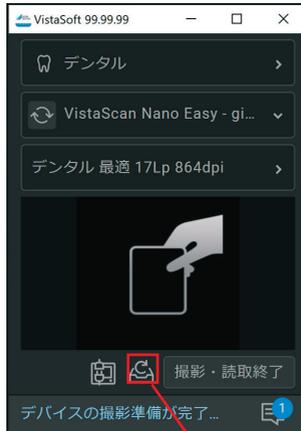
ビスタスキャンで画像を読み取り、完了後「撮影・読取終了」をクリックします。  
次に「VistaSoftコネクトジョブ終了」をクリックして画像転送を完了します。



画像が他社画像ソフトウェアに転送されます。

## 6.2 画像修復

何等かの理由により他社画像ソフトウェアへ転送できなかった画像は、画像挿入ウィンドウの画像修復より再度転送する事が可能です。以下の画像修復ボタンをクリックして実行します。



画像修復

挿入可能な画像がリストで表示されます。

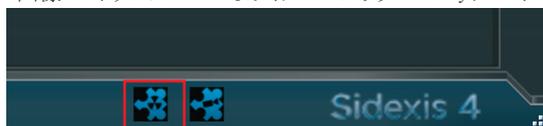


転送する画像にチェックを入れ、「外部ソフトウェアへ転送」をクリックします。  
画像が他社画像ソフトウェアに転送されます。

### 6.3 イメージブリッジの起動

デンツプライシロナ社の画像ソフトウェアSidexisをご利用の場合、当社のブリッジングツール「イメージブリッジ」をご利用いただけます。インストールは4.1 イメージブリッジのインストールを参照してください。

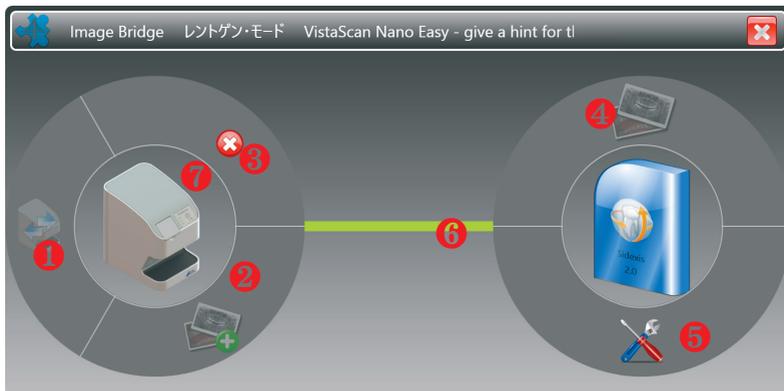
デンツプライシロナ社の画像ソフトウェアSidexisよりイメージブリッジX-rayデバイスをクリックします。



イメージブリッジX-rayデバイス

## 6.4 イメージブリッジメインメニュー

イメージブリッジを起動すると以下のメインダイアログが起動します。



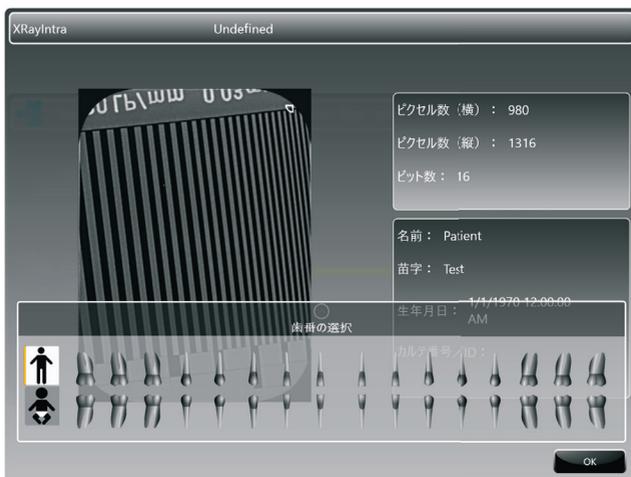
- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① デバイスの選択</li> <li>② 画像の読み取り</li> <li>③ 機器の接続解除</li> <li>④ 画像の表示</li> <li>⑤ イメージブリッジの設定</li> <li>⑥ デバイス接続状況</li> <li>⑦ 接続中のビスタスキャン</li> </ul> | <p>接続可能なデバイスを選択します。</p> <p>画像の読み取りを実行します。</p> <p>接続されているデバイスの接続を解除します。</p> <p>読み取った画像を表示します。</p> <p>イメージブリッジの設定を行います。</p> <p>デバイスの接続状況を表示します。緑のラインが接続中であることを表します。</p> <p>接続中のビスタスキャンアイコンを表示します。</p> |
|--|---|

## 6.5 イメージブリッジの設定

イメージブリッジの設定を行います。⑤イメージブリッジの設定をクリックして、ダイアログを開きます。



- X線画像を16ビットではなく、8ビットで転送  
Sidexisへ取り込む画像を16ビットまたは8ビットで選択します。Sidexis側で画像の受け取りに問題の無い方法を選択します。
- デバイスの選択方法  
デバイス選択ダイアログを表示  
前回使用したデバイス  
常にデフォルトデバイスを使用  
ダイアログより使用するデバイスを毎回選択します。  
前回使用したデバイスを自動的に選択します。  
自動的に常に同じデバイスを選択します。
- クイック起動を使用する  
イメージブリッジメインメニューを表示することなく、Sidexisより直接画像挿入ウインドウを表示して画像を読み取ります。
- 画像取得ダイアログに歯番選択を表示  
画像読み取り後、歯番選択ダイアログを表示して歯番を入力します。



- 言語  
表示言語を、ドイツ語、英語、フランス語、日本語より選択できます。
- 使用不可能なデバイスを非表示  
デバイスリストに使用可能なデバイスのみ表示します。
- 画像取得時にメインダイアログを縮小  
画像読み取り時にメインダイアログを最小化します。

## 6.6 画像の読み取り手順

①をクリックして、ウインドウを開きます。

デバイス選択より使用するビスタスキャンを選択し、リストより使用スキャンモードをクリックして選択します。



②をクリックして読み取りを開始します。ビスタスキャンおよびVistaSoftが起動し、画像挿入ウインドウが表示されます。6.1 ビスタスキャンより画像を読み取るに記載の手順に沿って画像を読み取ります。

⑤イメージブリッジの設定よりクイック起動を有効としているとき、Sidexisから直接VistaSoftへ遷移します。

⑤イメージブリッジの設定より歯番選択を有効にしているとき、歯番を選択します。



OKをクリックして画像を転送します。

## 6.7 画像の表示

イメージブリッジ起動時から終了までの間に読み取った画像を表示することができます。

④画像の表示をクリックします。画像が一覧で表示されます。

XRayIntra                      Undefined

↑  
転送済画像数



ピクセル数（横）： 1320  
ピクセル数（縦）： 976  
ビット数： 16

名前： Patient  
苗字： Test  
生年月日： 1/1/1970 12:00:00 AM  
カルテ番号／ID：

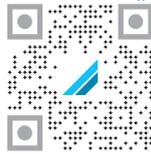
OK

「OK」をクリックして、画像をSidexisに転送します。





[www.duerr.co.jp](http://www.duerr.co.jp)



**デュールデンタルジャパン株式会社**

650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町6-5-8

TEL: 078-335-8883

[www.duerr.co.jp](http://www.duerr.co.jp)

